

# OCSLAM Ver3.0

Open Communication System Local area network Access Method

～ IBMオープンメインフレーム・サーバ用通信ソフトウェア ～

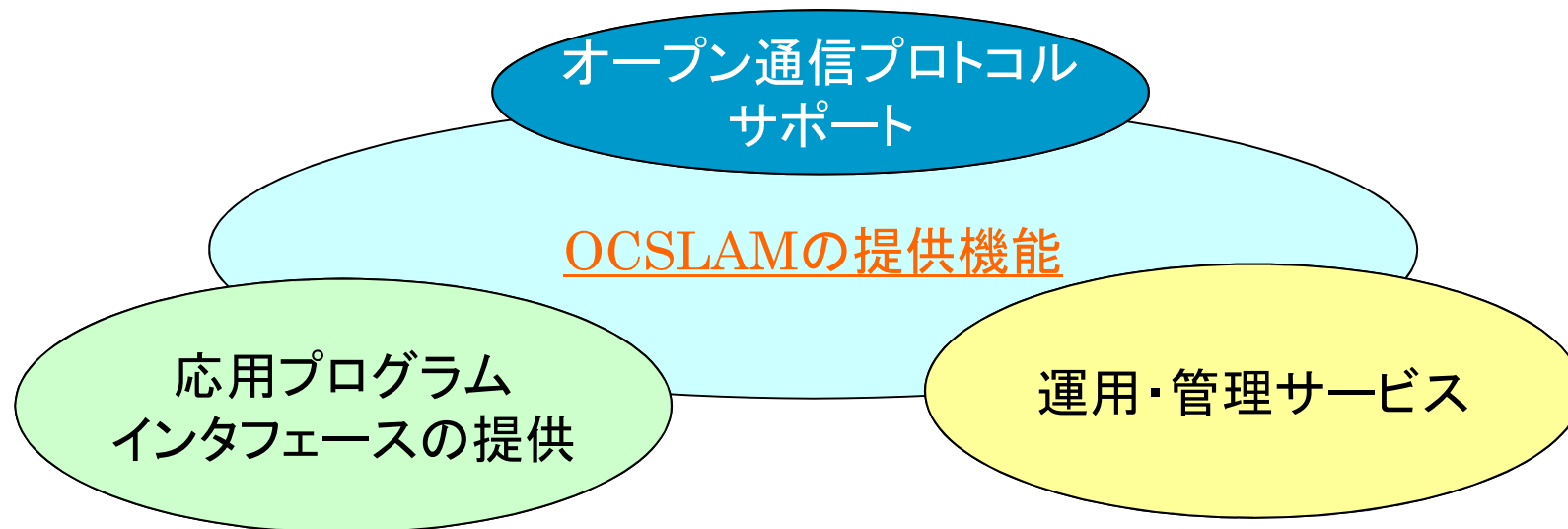
システム・エンジニアリング・サービス株式会社

<http://www.ses.jp/>

2014年7月15日

# OCSLAMとは

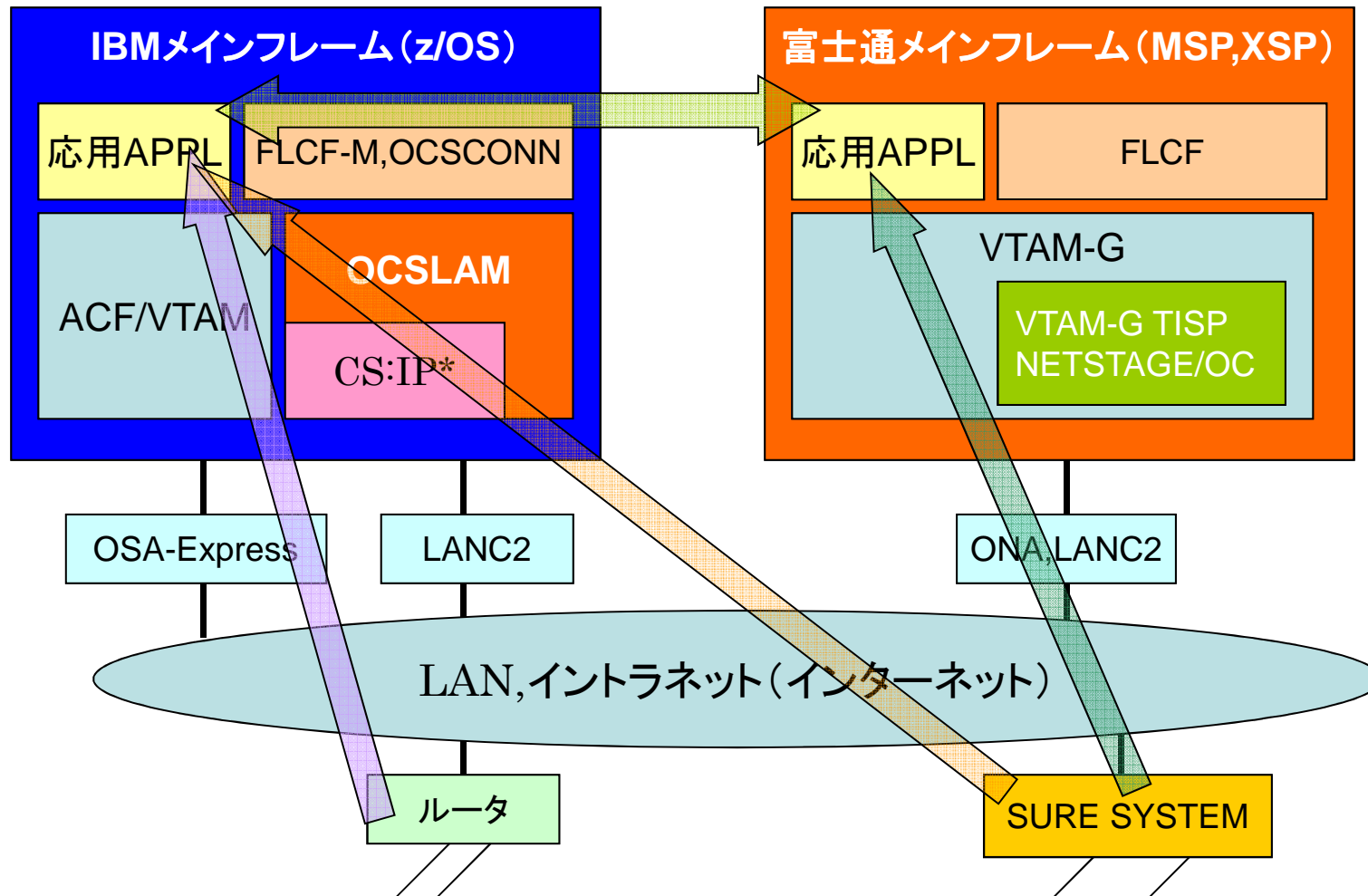
IBM社のメインフレーム上で動作する、  
LAN経由でのデータ通信のためのアクセス法です。



LAN接続により、IBM社メインフレームと富士通社メインフレーム間のストレスのない相互乗り入れや、NJEなどのアプリケーション間通信を実現します。

# OCSLAMの接続形態

\*: Communications Server IP



# OCSLAM V3の新機能

- IBMの最新版z/OS V2.1に対応
- 最新のTCP/IP機能(高速化)\*に対応
  - \*: z/OS Communications Server IP を利用
- 31bitモードに最適化

# OCSLAMの提供機能

## オープン通信プロトコルサポート

- RFC1006通信アクセス(TCP/IP上のOSI通信)
- OSI通信アクセス(OSI準拠のトランスポート・クラス4通信)

## ■ 応用プログラムインタフェースの提供

富士通社VTAM-G V30 OSI編とのAPIの互換性を保持

## ■ 運用・管理サービス

OCSLAMの起動・停止、ネットワーク資源の状態監視や制御、  
ログ・保守情報の採取

# サポート通信プロトコル(1/2)

## ■ TCP/IP通信

- RFC1006準拠のOSI on TCP/IP通信をサポート。  
(富士通社のNETSTAGE/OCを用いた通信に準拠)
- IBM社 z/OS Communications Server IPを  
TCP/IP通信のプロトコルエンジンとして使用。  
→ IBM社のエンハンスに応じて、高信頼化機能や  
高速化対応、セキュリティ強化への対応が可能。

# サポート通信プロトコル(2/2)

## ■ OSI通信

- OSIのTP4、CLNPに準拠。
- INTAP\*作成の以下の規定を実装。

基本参照モデル:

JIS X5003 参考 S002(V1.0) アドレス体系実装規約

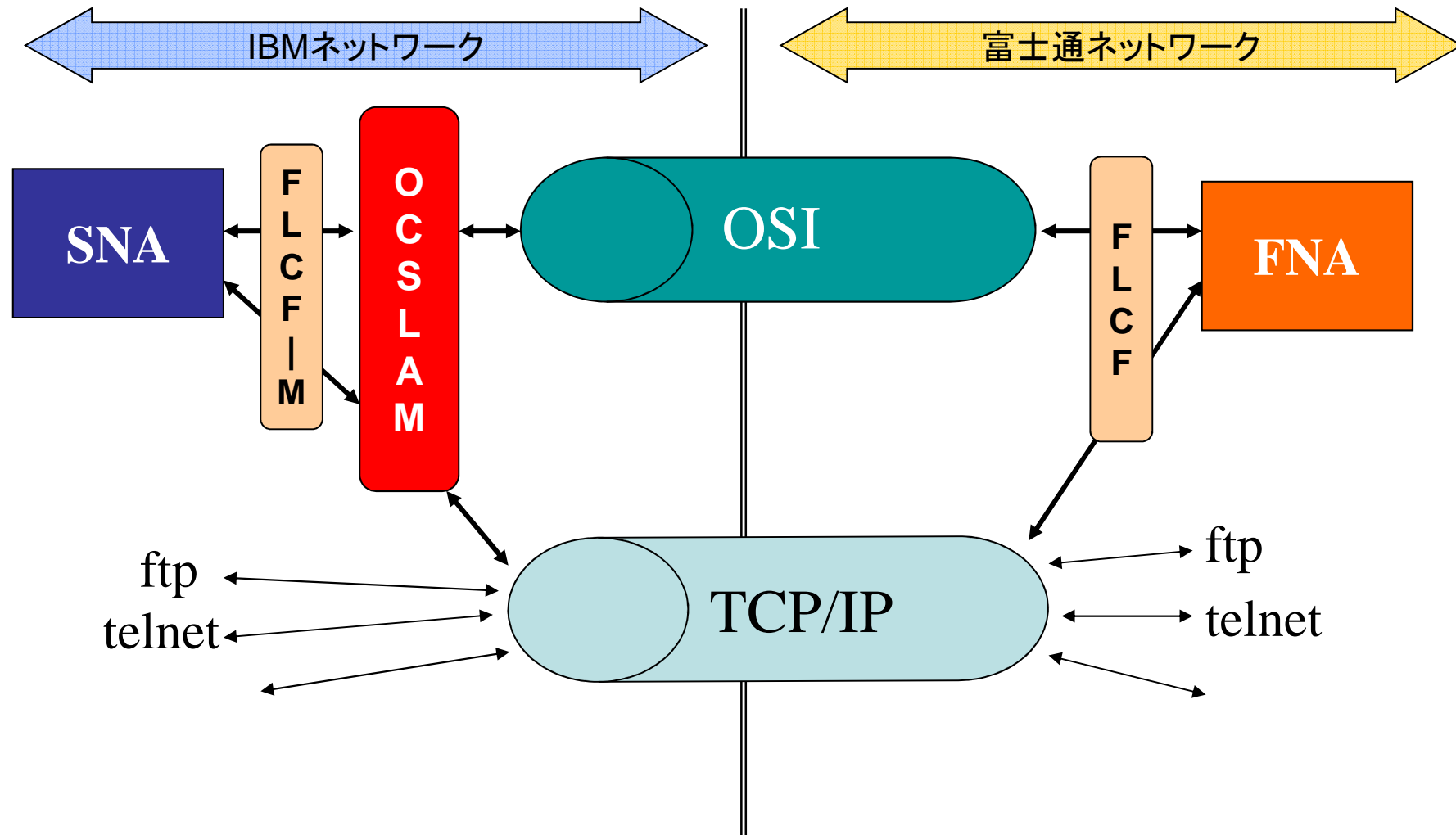
下位層(トランスポート層以下):

JIS X5003 参考 S011(V1.0) LAN下位層実装規約

\*:財団法人情報処理相互運用技術協会

Interoperability Technology Association for Information Processing, Japan

# 通信パスとプロトコルの関係





# TCP/IP導入のメリット

～ 通信プロトコルの選択(OSIからTCP/IPへ) ～

- 選択肢の拡大
  - IPネットワークへの統合が可能
  - 適材適所なネットワーク構築が可能
- LAN間接続の容易性(マルチベンダ環境)
  - 専用線、ブロードバンド、ISDN など
  - 本社・支店間接続
- インターネット、イントラネットへの接続
  - 海外拠点、社外との接続
- 安価な機器・ソフトの活用
  - ルータ、スイッチ など

# 応用プログラムインタフェース

## ■ VTAM-G V30とのAPI互換

アセンブルマクロレベルにおいて、  
富士通社 VTAM-G V30(OSI編)との互換性有り。

# 運用・管理サービス

## ■ OCSLAMの起動・停止

START/STOPコマンドにより、OCSLAMの起動・停止と、ノードセットのアクティベート等が行えます。

## ■ ネットワーク資源の状態監視・制御

表示コマンドでネットワーク資源の運用状態が確認できます。運用中の障害はコンソールにメッセージ通知されます。また、運用中に各資源の状態を変更できます。

## ■ 統計ログ・保守情報の採取

統計情報のログや各種のトレースを採取できます。トラブルの原因追求や資源量の使用状況等が把握できます。

# SNA/FNA接続のためのソフトウェア製品

富士通社の応用プログラム製品と組合せることで  
SNA/FNAの相互接続を実現。

- FLCF, FLCF-M\*1

富士通社FNAネットワークとIBM社SNAネットワークとの  
相互接続が行えます。

- OCSCONN\*2

富士通社SURE SYSTEMとIBM社SNAネットワークとの  
相互接続が行えます。

\*1: FNA Loose Coupling Facility

\*2: Open Communication System FNA-SNA interCONNECTION

# 稼動条件(ハード/ソフト)

## ■ ソフトウェア(稼動OS)

- ・ z/OS V2R1 以降 (OSへの変更・改造パッチ等は不要)

※ MVS/XA, MVS/ESA, OS/390 V1-V2, z/OS V1をサポート済み。  
(z/OS V1.xは、OCSLAM V2で対応しています)

現在のカレントOSは、z/OS V2R1 です。

## ■ ハードウェア

### ● ホスト計算機

- ・ 上記、OSが稼動するメインフレーム

### ● LANアダプター

- TCP/IP通信時: IBM社 OSA-Express , 3172  
(Communications Server IPでサポートしている装置群)
- OSI通信時: 富士通社 LANC2

# ドキュメンテーション

ドキュメンテーション名	番号	別売価格(税別)
OCSLAM V3 概要説明書	DBRM001	10,000円 (DVD-R:1set)
OCSLAM V3 導入運用手引書	DBRM002	
OCSLAM V3 プログラミング説明書	DBRM003	
OCSLAM V3 メッセージ説明書	DBRM004	

※ 製品には、上記と共に以下のドキュメンテーションが同梱されています。

- OCSLAM V3 ソフトウェア説明書 (番号:DBRM005)

# サポートと保守

## ■ 導入支援サービス(導入時) <有償サービス>

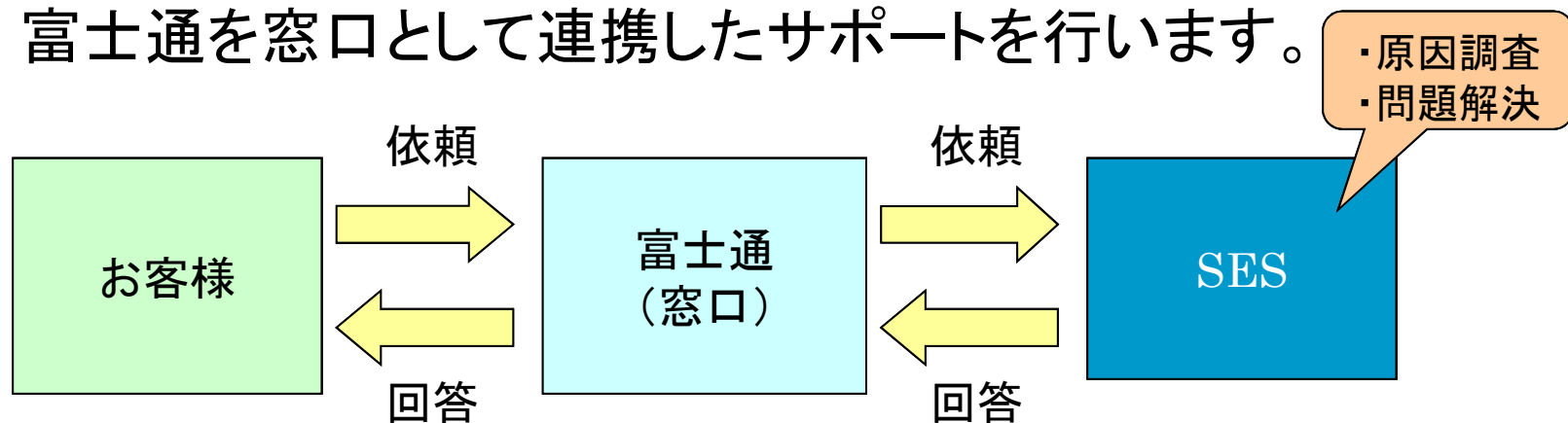
OCSLAMの導入作業を支援します。

[支援内容]

OCSLAMのインストール、定義作成、動作確認

## ■ 保守体制

富士通を窓口として連携したサポートを行います。



# 稼働実績

- 金融系：某メガバンク
- 保険・証券系：某生命保険会社
- 電力系：某電力会社
- 製造系：某最大手電気メーカー、某飲料メーカー
- 流通系：某有名百貨店 他

→ これまで海外を含め80本以上を出荷済。  
現在も、30システム以上が稼働中。



# 会社略歴 (システム・エンジニアリング・サービス株式会社)

「標準」、「オープンシステム」、「異機種間」をキーワードにした  
ソフトウェア製品ベンダー&ソリューション提供企業

- 設立 : 1982年6月 (創業32年、資本金1000万円)  
事業内容 : ネットワークソフトウェア製品の企画・開発・販売
- 1990年より富士通ソ事本様より一括請負を継続して受託
  - 1998年にIBM Partner World For Developerに加入

## ＜主要製品のご紹介＞

- BroadRanger (基幹業務連携ポータルアプリケーション)  
2002年にPanasonic様に導入・稼働中。
- BroadZT (全銀TCP/IPアダプター)  
2005年よりオールインワン設計のアプライアンス装置として販売中。
- SmartSignOn for FEREC (FEREC専用クライアントアプリ)  
2009年よりiPhone/Android版をNetSpring社を通じて提供中。

# お問合せ先

## システム・エンジニアリング・サービス株式会社

東京オフィス 〒108-0073 東京都港区三田3-12-16 山光ビル2F  
TEL:03-5440-7563 FAX:050-3737-1458

本社 〒790-0823 愛媛県松山市清水町2丁目15-9  
TEL:089-925-6345 FAX:089-923-3709

E-mail: [info@ses.co.jp](mailto:info@ses.co.jp)

<http://www.ses.co.jp/>

- サポート情報

<http://www.ses.co.jp/products/ocslam/>



